

晃の園だより

発行 / 特別養護老人ホーム晃の園 (偶数月発行)

<http://www1.ocn.ne.jp/~suruga/hikari/>

教えていただくことがいっぱい

暖冬の影響で遅れてやってきた紅葉も、いざ始まってみると意外なほどの鮮やかさで私たちの目を楽しませてくれた今年の秋。その後足早に季節は移りいよいよ12月、本格的な冬が到来しました。

ある日のユニットのキッチンでの光景です。晃の園に実習に来ていた学生さんと入居者が一緒に味噌汁を作っていました。「この味噌溶けませんか、どうすればいいですか?」「これはね、こうするだよ」普段、入居者の生活のお手伝いをさせていただいている私達ですが、入居者の皆さんは当然ながら私たちの何倍も経験を積まれた人生の大先輩、教えていただくことがいっぱいあります。

今となっては一般の家庭では見る機会が減ったかもしれないこのようなやり取りが、晃の園では毎日どこかで見られる光景となりました。こういった光景を見る機会がもっともっと増えればと思います。

普段の生活の中で

外出でもなく特別なイベントでもない・・・、普段の生活の風景です。こういった普段の生活の中での入居者の笑顔こそが、とても大事なものに思えます。



今日様では、秋の味覚さつま芋を使って芋羊羹を作りました。まずは入居者様と職員総出で8kgものさつま芋の皮むきからです。

皆さんとても手際良く、綺麗に皮をむいてくださいました。



入居者様のお孫様が、かわいいひ孫様お二人と一緒に七五三の着物姿を見せに来て下さいました。「物よりも何よりも、孫やひ孫のかわいい顔を見られるのが一番嬉しいよ」と笑顔でおっしゃっていました。



入居者様が百歳のお誕生日を迎えられました。百年の間にはきっと嬉しい事、楽しい事や苦労した事もたくさんあったと思います。この先も人生が明るく楽しいものであるよう一緒に過ごしていけたら嬉しいです。



入居者様のご家族からパイナップルを頂きました。丸ごとはなかなか見ることがないので、皆様興味津々で順番に手に取り感触を確かめています。「あ～すごいねえ、結構重たいねえ」皆様パイナップルに夢中でした。



ご本人様は「畑仕事が忙しかったからそんな暇はなかったよ」とおっしゃっていたのですが、いざピアノの前に座るとほらご覧の通り。その姿はどう見ても経験者、何だか不思議な話ですね。実はご本人様のみが知る、です。



この日、日中は晴天に恵まれポカポカ陽気でした。その陽気に誘われたのか、少し風邪気味の利用者様は太陽の恵みを求めて自ら歩を進め、この席を確保されていました。やっぱり自然の温もりが一番ですね。

ここに掲載した写真や記事は、晃の園ホームページ上の掲示板「旬のネタ」から抜粋したものです。掲示板「旬のネタ」には現場からのニュースが随時掲載されています。ここに掲載しきれなかったニュースや話題もたくさんありますので、よろしければご覧ください。晃の園ホームページには「晃の園」で検索するか次のアドレスからアクセスしてください。

<http://www1.ocn.ne.jp/~suruga/hikari/>

あっつあつの焼きいもで

や~きいも~

心も体もほっかほか

食欲の秋を代表する味覚、焼き芋。今回はそんな旬な味覚を存分に楽しめた入居者様のご様子を棟ごとにお伝えします。



新樹の焼きいも

一番のりで旬を楽しみました

こちら新樹では園内で一番最初に焼きいもを楽しませていただきました。



当日は少し肌寒く感じられましたが、その寒さを忘れるぐらい焼き芋作りに熱中できました。新聞を巻く人、アルミを巻く人、皆さん準備に大忙しでしたが、暫くするとテラスはもちろん建物内にも焼けるお芋の匂いが漂ってきました。美味しくこんがり焼けて、お芋もみんなもホックホクの新樹でした！！



清響の焼きいも

見てください この笑顔！

清響でも存分に楽しませていただきましたよ、焼きいも。皆さんにどれだけ楽しんでいただけたかは写真を見ていただければお分かりですね。見てください、この表情を。焼き加減も上々で皆さん笑顔で召し上がっていらっしゃいました。



楳の焼きいも

最後にゆっくりとじっくりと

はい、一番最後にゆっくりと美味しい焼きいもを味わせていただいた楳です。

じっくりと熟成して甘みが増したさつまいも。その味覚を入居者様に十分に堪能していただくことができました。また近いうちにぜひやりたいですね、や・き・い・も！



園の大事な宝物になりました

今回のイベントで活躍したこの焼きいも機は、ドラム缶を再利用して作られたものです。地元の方の手によるものですが、機能・装備・容量など文句のつけようのない出来栄で、毎年秋には園内のあちこちで声がかかり、ひっぱりだこになります。



ちょっと贅沢なランチはいかが？

一番の隠し味は屋外の気持ちよさ

暑くもなく寒くもない、日差しは心地よく吹く風も気持ちいい。季節の変わり目には必ず存在するそんな日に外で昼食を楽しんだお話です。



新樹棟の奥、大きなテラスに面した二つのユニットが、素敵な秋の日と一緒にテラスで昼食会を開きました。メニューは焼きそば。沢山の野菜やお肉と一緒にホットプレートで作りました。入居者様も率先して手伝ってくださったのであっという間に沢山の焼きそばが出来上がりました。味の方は・・・、美味しさに決まっていますよね！

おや、あちらの入居者様の手にはビールのグラスが。相性抜群の焼きそばとビール。それをこの最高の季節に外で飲む。くっ、正直羨ましいです。



十五夜を楽しみましょう

花より団子、月よりお菓子

9月25日は十五夜。みんなで秋を感じたいと思いへそ餅を作りました。まずは白玉粉にお湯を入れてまぜ、小さく丸めて真ん中をへこませます。入居者様も器用な手つきで一緒に手伝っていただきました！いよいよ最後に鍋に湯を沸かし団子を茹で、浮いてきたらさぁ出来上がりです



へその部分にあんこをのせて、さぁ食べましょう。お団子がやわらかくてすごく美味しかったです。入居者様は皆やっぱりあんこが大好きなようですね。

防災は一人一人の心がけ

夜間の地震で火災が発生したという想定で、各種連絡や避難誘導の訓練を行いました。

訓練内容は、災害発生時の役割分担や行動手順、情報伝達手順、それに避難経路などの確認と実践です。夕方からは炊き出し訓練も行いました。



「防災訓練なんだから、(本当は)困った顔をしなきゃね。」と冗談をおっしゃっていた入居者様も、いざ訓練開始となると真剣な表情で取り組んでくださっていたのがとても印象的だった避難訓練でした。

